

# 片山津工区

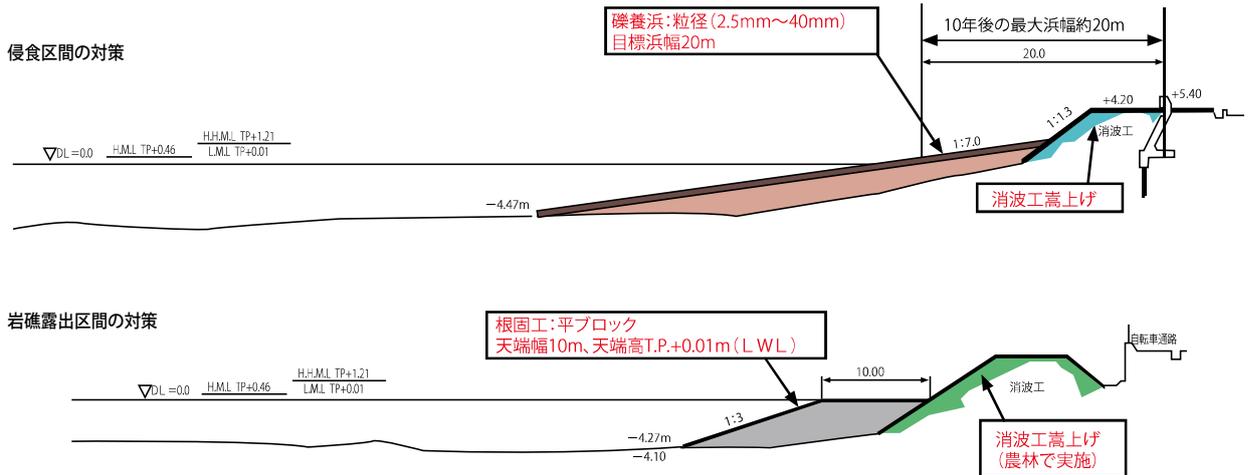
片山津工区は、海岸侵食が著しく護岸被災が頻発したため、平成16年6月に直轄海岸工事施工区域に編入されました。片山津工区は、沖合に岩礁域を利用した漁業が盛んなことや、越前海岸国定公園内に位置しているため、養浜を主とした景観と利用に配慮した海岸保全対策を計画し、平成26年度から整備を進めています。



▲ 事業実施前



▲ 事業実施後のイメージ



侵食された海岸線に砂等を投入して浜を造成し、堤防の越波防止を図ります。

波のうちあげ高を低減するため、消波工の嵩上げを行い、消波機能を確保する。



▲ 養浜 施工状況



▲ 消波ブロック嵩上げ状況

## 新型人工リーフによる整備

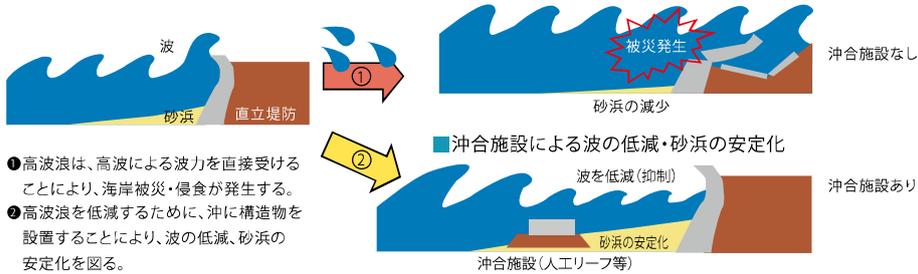
# 小松工区

小松工区は、1947年(昭和22年)当時は、全域で50m以上の砂浜が存在していましたが、その後の汀線後退により、現在では砂浜がほぼ消失しました。しかし、侵食の進行及び多発している災害を未然に防ぎ、背後地の安全を確保するため、人工リーフと養浜による海岸保全対策を計画し、平成16年度から人工リーフによる沖合施設の整備を進めています。



### ■高波浪(主に冬季風浪)

### ■被災・侵食



## 新型人工リーフによる整備

小松工区で施工されている新型人工リーフは、①優れた消波効果、②水位上昇量の低減、③コスト縮減が特徴です。

また、この人工リーフは、ブロック内に大きな空間が確保されているため、上面開口部による採光や曝気<sup>ほっき</sup>の促進効果等とも相まって、魚礁としての効果に期待できます。また、構造形状によって藻場の造成効果にも期待できます。



▲新型人工リーフ(風ブロック)施工状況

## 自然とふれあう快適空間

# 根上海岸

海岸に白い砂浜と青い松の続く「白砂青松」<sup>はくさせいしょう</sup>は日本の歴史と風土に培われてきた美しい国土の一部であり将来に残すべき貴重な財産です。

このため、海岸事業(緩傾斜堤整備)と治山事業(保安林内整備)が一体となった複合事業により白砂青松を整備し、森林浴を同時に楽しめるうるおいのある生活環境の整備を行っています。



なぎさリフレッシュ事業

# 美川海岸

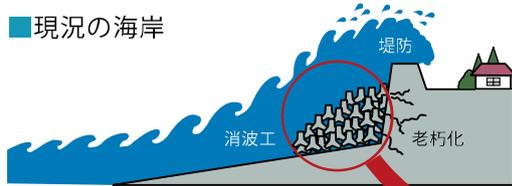
美川海岸では、海岸堤防(直立堤)や消波工を中心とした従来の工法により、砂浜の回復等を図ってきました。しかし、「景観を阻害している」、「人が砂浜にアクセスしにくい」など、必ずしも海岸環境に配慮したものではありませんでした。

このため「快適でうるおいのある海岸環境を創出」することを目指し、老朽化した海岸堤防(直立堤)を緩傾斜堤に改築し、消波工と離岸堤を人工リーフに転換することで、よりよい海岸環境の創出を図る美川なぎさリフレッシュ事業を行っています。



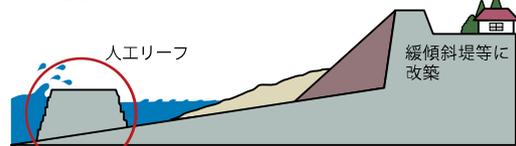
▲美川なぎさリフレッシュ事業箇所

## ■ 現況の海岸



これまでは、海岸堤防(直立堤)や消波ブロックにより、なかなか海に近づけませんでした。

## ■ 実施後の海岸



老朽化した海岸堤防(直立堤)を緩傾斜堤(階段型)に変更することで、海辺を利用しやすく整備しています。また、沖合施設(人工リーフ等)により砂浜の復元を図っています。

消波工を人工リーフに転用

松任 C.C.Z. 整備計画

# 松任海岸

松任海岸の徳光地先では、昭和 62 年度に全国に先駆けて海辺のふれあいゾーン整備計画(C.C.Z. 整備計画)※

の認定を受け、多様化するレクリエーションに対応するため、離岸堤の沖出しや人工リーフ・緩傾斜堤の整備を行い、親しみやすい海辺づくりを目指した海岸保全施設の整備を行っています。

国土交通省、石川県、NEXCO 中日本、白山市(旧松任市)と協議を行いながら、背後地の徳光ハイウェイオアシス周辺の事業を行っています。



※ C.C.Z. とは  
コースタル・コミュニティー・ゾーンの略で、海岸事業、公園事業など各種所管公共事業を連携して実施することを通じて、国土の整備、保全を図るとともに、人々が海と親しみ、また、集い憩える海浜地域を整備することを目的とした事業。

関連施設名等
①はくさん街道市場(旧まつとう車遊館)
②松任海浜公園
③海岸保全施設整備 (離岸堤の沖出し、緩傾斜堤、人工リーフ)
④松任海浜温泉
⑤松任海浜公園室内プール
⑥松任海浜公園ホテル シーサイド松任